

授業科目名・形態	基礎看護技術演習Ⅰ（日常生活援助）演習	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	小畑千春・黒澤繭子・千葉孝子・伊藤洋介	実務経験の有無	有	開講期	1年前期

【授業の主題】

基礎看護技術論Ⅰで学んだ日常生活を営む上で必要な援助に関する知識や技術を活用し、日常生活援助を安全・安楽に実施するための看護技術の実践を学ぶ。

【到達目標】

1. 日常生活の援助に関する基礎知識とその根拠を理解できる。
2. 日常生活の援助（快適な環境整備、食事、排泄、活動、休息、清潔など）を安全・安楽に実施するための基本技術を習得できる。

【授業計画・内容】

- 第1回 オリエンテーション 手洗い方法・演習における留意事項など
- 第2回 環境調整技術（1） 環境調整、ベッドメイキング
- 第3回 環境調整技術（2） ベッドメイキング
- 第4回 活動・休息援助技術（1） 基本的活動の援助 体位・体位変換
- 第5回 活動・休息援助技術（2） 移動、移乗・移送
- 第6回 清潔・衣生活援助技術（1） 寝衣交換
- 第7回 清潔・衣生活援助技術（2） 全身清拭
- 第8回 清潔・衣生活援助技術（3） 洗髪
- 第9回 清潔・衣生活援助技術（4） 部分浴（手浴・足浴）
- 第10回 排泄援助技術（1） 床上排泄
- 第11回 排泄援助技術（2） 浣腸、陰部洗浄
- 第12回 ヘルスアセスメントの実践（1） バイタルサイン測定①
- 第13回 ヘルスアセスメントの実践（2） バイタルサイン測定②
- 第14回 ヘルスアセスメントの実践（3） バイタルサイン測定③
- 第15回 看護技術の総合演習

【授業実施方法】

基本的には演習形式で行う。

【授業準備】

基礎看護技術論Ⅰを復習し、授業内容に関連した教科書の章の内容を十分に読み演習にのぞんでください。

【主な関連する科目】

総合科目、専門基礎科目、看護学概論、基礎看護技術論Ⅰ

【教科書等】

基礎看護技術論Ⅰと同様

【参考文献】

基礎看護技術論Ⅰと同様

【成績評価方法】

技術チェック（90%）、演習態度・課題レポート（10%）により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

医療法人の病院で看護職として患者への看護業務の実践、業務基準に関する指導や教育の経験があります。そこで経験した看護実践をもとに、看護技術の原理・原則の必要性等を伝えたいと思います。

【学生へのメッセージ】

看護技術の基本となりますので、予習・復習をしっかり行ってください。特に技術は授業以外でも何度も練習を重ねることが大事です。患者さんに安全で安楽な看護技術を提供できるよう知識・技術を習得してください。教科書の付録の動画や、図書館にある視覚教材を積極的に活用しましょう。